

平成30年度 生徒自ら行う学習環境整美事業報告

実績内容

事業名	城北グラウンドの整備(土入れ・整地)
実施主体名	飯山高等学校 生徒会(野球部)
実施人数(生徒)	57名
”(職員等)	5名
実施日	6月8日、11日、7月10日、8月31日
事業内容	・土入れ(業者から購入した土を入れるー6月8日) ・グラウンド整地(生徒職員による整地ー6月11日) ・砂入れ(業者から購入した洗い砂を入れるー7月9日) ・グラウンド整地(生徒職員による整地ー7月10日) ・土入れ(業者から購入した土を入れるー8月31日) ・グラウンド整地(生徒職員による整地ー8月31日)

○事業を実施した結果、教育的効果(生徒の取組み等)の状況



・クラブ活動の充実

今年度は野球部が使用している城北グラウンドの内野のゾーンのベース周辺と外野ゾーンを中心に整備した。事業を行ったお陰で、平らになり、砂も多くなったことからケガが減少した。また、水はけもよくなり秋季北信大会の予備戦会場として使用された。

・生徒自ら行う練習環境づくりと維持

グラウンド整備を生徒とともに行った事で、生徒自身が自分たちの手で作り上げたという充実感を味わい、この事が自分たちで作り上げたトレーニング環境を守っていこうという、その後の活動・意欲に結びついていると考える。事業を行ったことによりトレーニング後遅くまで、グラウンドの隅々まで丁寧に整備する姿が見られるようになった。